



## 非営利団体 連携希望プロジェクトシート 一覧

- |                    |         |                       |         |
|--------------------|---------|-----------------------|---------|
| ① NPO法人しなのめフリースクール | p.2-3   | ⑥ 任意団体 風と土            | p.12-13 |
| ② 任意団体 (笑)まんぺい工務店  | p.4-5   | ⑦ 小規模住居型児童養育事業「米重さん家」 | p.14-15 |
| ③ 串木野ゆる～い浜の地域食堂    | p.6-7   | ⑧ 一般社団法人かなえるHOUSE     | p.16-17 |
| ④ モノモノコウカンプロジェクト   | p.8-9   | ⑨ 子育てサポーター団体【かごんままズ】  | p.18-19 |
| ⑤ 特定非営利活動法人岳の子     | p.10-11 |                       |         |

## NPO法人 しのめフリースクール

#フリースクール  
#お仕事体験 #自己肯定感



### 背景

不登校、ひきこもりの子供若者の孤立を防ぐために、社会との接点を持ってもらうきっかけを作りたい。受け入れている子供のたちの中には、社会への貢献感を持ちたい、働く意欲はある、でも踏み出す一歩が難しいという子供たちや、また才能が豊かであるにもかかわらず、自信のない子供たちも多くいる。さらに、自分が何に向いているかというような漠然とした進路に迷う子供たちも多く、また不登校、引きこもりの子供たちは運動不足であったりもする。そのため、まずはお仕事チャレンジという形で、ボランティア以上、アルバイト未満の活動の場として経験ができる受け入れをしていただくプロジェクトを希望し、さらに、お仕事をいろいろと体験させていただけるようなおしごと遠足というものも、実施していけたらと思う。将来の本人の仕事に繋がる体験となるように、自信に繋がっていけることが望ましい。

### プロジェクト タイトル

ひきこもり、不登校の子ども若者を孤立させないために  
子どもたちが得意を活かせるお仕事体験をしたい！

お仕事チャレンジやおしごと遠足で必要とされる体験を通して自己肯定感を高める



働きたい意欲があったり社会貢献に関心のある子供たちが多いが、第一歩を踏み出す自信がなかったり、何から始めたらいいかを迷っている子供たちに、ボランティア以上アルバイト未満の簡単な体験ができるような仕事を体験させてあげたい。それによって、自己肯定感を高め、次のやる気を高めていけるような仕掛けを作りたい。お仕事体験、子どもたちのやる気を高めたり、何かを作ることが得意だったり、アイデアをたくさん持っている子どもたちが多く、その得意をアウトプットできる機会が欲しい。



# NPO法人しなのめフリースクール

設立： 2019年11月20日

所属人数：7名

## 強み



強み→多くの臨床心理士で構成されている団体のため、一人ひとりの特性を細かく見立て、（場合によっては心理検査等を行う）本人の得意な面と苦手な面の両方を把握することで、ミスマッチを防ぐことができ、より本人に合った仕事を紹介できる。また、子どもたちへの心理面へのサポートティブな関わりにより、エンパワメントしていけることを強みとする。

## 課題

子供たちのやる気を  
社会につなげていくため、企業等との  
繋がりを広げ、深めていきたい！



## 一言



もともと、弟が当時高校生で不登校となり、居場所もなく、頼るところもなかなか見つからなかったという家族で苦しんだ経験があり、頼る先であったり、居場所を作りたいという思いで現在のNPO法人を立ち上げました。現在の活動は、日本の家族再生の道であると思っています。子供たちが元気になる関わりを皆さんと一緒に構築していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします！

NPO法人しなのめフリースクール 理事長 中村紫乃

プロジェクト  
タイトル  
古民家DIYから広がる

“わくわく地域づくり”

(笑)まんぺい工務店



#古民家DIY #空き家問題  
#地域づくり  
#つながりづくり  
#まんぺい親方



古民家DIYをきっかけに、空き家の課題解決と人がつながる場づくりに挑戦しています。まずは自宅の古民家再生から始め、地域内外の人が集まる交流の場を広げ、将来的には空き家活用や地域経済につながる仕組みへ発展させていきます。



さらに本プロジェクトでは、キャラクター「まんぺい親方」を活用し、DIY現場での安全意識や危険予知活動（KY活動）を楽しく啓蒙する可能性にも挑戦しています。また、和田地区のビジョンづくりとも連動し、将来的には地域全体を見据えた組織づくりへと発展する展望もあります。

背景

吹上町和田地区では人口減少や高齢化が進み、空き家が増加しています。空き家は多く存在しますが、市場に出るのはごくわずか。実際、私自身も古民家を購入するのに2年半を要しました。空き家問題には「空き家になる前」と「なった後」の両方があり、早い段階で地域ぐるみで関わる仕組みが必要です。しかし活動の担い手はまだ少なく、取り組みを広げにくい現実もあります。



# 任意団体 (笑)まんぺい工務店

設立：2024年 4月  
所属人数：3名

### 強み



- ・築120年の古民家を自らリノベーション  
地域住民や外部の人を巻き込みながら進めるDIYの現場を持っている。
- ・「関わりながら学べる場」の提供  
単なる修繕ではなく、ワークショップやSNS発信を通じて、体験と学びを同時に得られる機会を創出。
- ・安全啓蒙の工夫（今後の展開）  
キャラクター「まんぺい親方」を活かし、今後は楽しく分かりやすい安全意識啓蒙に取り組む可能性あり
- ・将来の展望  
自治会や公民館の枠を超え、地域全体で持続的に課題解決や運営を担う「共同組織づくり」へと発展する可能性を秘め、多様な連携の入り口となっている。

### 課題

- | 空き家はあるのに活用されない  
制度だけでは限界があり、相続や管理放置の空き家は活用が難しい。地域で相談できる仕組みと、自分たちで工夫する仕組みづくりが必要。
- | 少人数で活動が広がらない  
関わる人がまだ少なく、活動の幅が狭い。地域住民に加え、大学・企業・NPOなど多様な人との連携で仲間を増やしていくことが課題。

### 一言



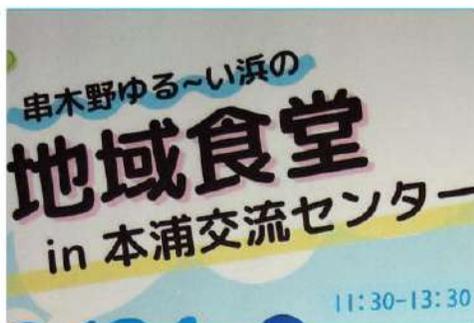
まんぺい親方と一緒に、空き家をきっかけに楽しい場をつくっています🐾  
DIYや草刈りだけでなく、おしゃべりやお茶の時間も大歓迎。  
空き家は課題であると同時に、地域を元気にする“宝の種”。  
「ちょっとやってみたい」——その気持ちから地域の未来が動きます。  
一緒に“わくわく”を広げる面白いこと、始めませんか？

任意団体 (笑)まんぺい工務店 代表：黒木 智大



## 串木野浜のゆる～い地域食堂

#子ども食堂 #地域食堂  
体験型イベント #



### 背景

これまで地域食堂を月に一度開催し、子どもから高齢者までが集まれる居場所をつくってきました。食材や人手といった資源には恵まれています、自分たちだけでは活動をより良くしていく新しいアイデアを広げるのが難しいと感じています。そこで、学生さんや企業さんと協力しながら、子どもたちにとって「体験学習」となるイベントを企画したいと思いました。地域には、お菓子作りや料理を作るのがとても上手な高齢者さん、特産品を扱う農家など、多彩な知識と経験を持つ人がいます。そうした地域の方々の強みを活かしつつ、企業さんからは商品開発や情報発信のノウハウを取り入れたいと考えています。また、企業さんにとっても、子どもたちや地域住民と協働することで新しい商品アイデアや試作品へのフィードバックが得られ、地域との関わりを深められると考えております。この取り組みを通して、「地域交流×食育×商品開発」をかけ合わせ、子どもたちの学びや笑顔を広げると同時に、持続可能な地域の活動へとつなげていきたいと考えています！

### プロジェクト タイトル

未来の食の達人プロジェクト！  
地域の人・知恵・食材を活かして、子どもたちと一緒に楽しむ  
郷土菓子づくりイベントをしたい！

地域の食堂を拠点に、子ども・保護者・高齢者・企業が一緒になって  
「食育」「商品開発」「交流」を楽しむ場をつくりたいと思っています。



地域食堂の活動を基盤に、子どもたちと一緒に鹿児島県の郷土菓子（ふくれがし・かるかんなど）を作り、販売や試食を行う体験イベントを開催します。単なる調理体験にとどまらず、子どもたちが味や形を工夫したり、オリジナルのパッケージデザインを考えたりすることで、「食育」「ものづくり」「商品開発」を兼ねた学びの場となります。また、地域の特産物や季節の行事に合わせた新しい菓子づくりを試みることで、食品ロス削減や地域資源の活用にもつなげていきたいと思っています！企業や学生、高齢者の知恵と経験を取り入れながら世代を超えて交流できる場をつくり、子どもから大人まで一緒に楽しめる地域のイベントをしていきたいです！

# 串木野浜のゆる～い地域食堂

設立：令和5年 5月 21日  
所属人数：10名

## 強み



- お弁当は毎回80食完売！  
- 地域の子育て世帯を中心に、多くの方に利用いただいています。
- 地域回覧板での告知が可能  
- 企業の広報や地域PRに活用いただけます。
- 大手企業や団体からの支援実績あり  
- いただいた食材を子ども向けにアレンジし、喜ばれるメニューを提供してきました。
- 農芸高校と連携した食育イベントの開催実績  
- 地元食材を活かし、20名ほどの参加を実現。



## 課題

- イベントのアイデアはあっても、実際の開催につながらないことが多い。
- 若い世代や子どもたちが「参加してみたい！」と思える企画発信やチラシ作成が苦手。
- 月に1回しか使えない拠点の制約があり、開催頻度が限られている。



## 一言



笑顔の輪を増やすお手伝いをしてください。  
特に頑張っている子育て中のパパやママさんの笑顔を見たい！  
今後も体験的学びがあるイベント企画し支える側も支えられる側も  
心豊かに共に成長していける子ども食堂にしたい。私たちの活動を応援してください！



浜のゆる～い地域食堂 山田 優子

## モノモノコウカン プロジェクト

#物々交換 #リユース  
#子育て世帯で支え合う  
#地域とのつながり



### 背景

モノモノコウカンプロジェクトは、子ども服やおもちゃ、絵本、子育て用品などを持ち寄り、持ってきた分だけ別のものと交換できる「物々交換の場」です。2016年に志布志市で生まれ、主にイベント出店の形で活動してきました。2023年に現代表が引き継ぎ、2024年6月には鹿児島市紫原に常設拠点をオープンしました。現在は月4回ほど開き、毎回たくさんの子育て世帯が訪れます。拠点を運営していくうちに、ここを単なる物々交換の場としてだけでなく、関わるみんながワクワク暮らせるような仕掛けづくりをしたいと思うようになりました。安定して運営できるようになった今、地域の皆さんや企業・教育機関ともに面白いことができる未来を描いてはいますが、どう手を取り合ったらいいかわからずにいます。今回の参加により面白いことが生まれるのではないかと期待しています。

### プロジェクト タイトル

服の交換だけじゃなく、ワクワクも生まれる場に。  
モノモノコウカンをもっと面白くする仲間募集中!

要らなくなった子ども服やおもちゃを会場にあるものと交換できるモノモノコウカンプロジェクト。ここを「物々交換の場」としてだけでなく、関わるみんなをワクワクさせられるような地域のハブにしていくアイデア&仲間を探しています!



モノモノコウカンプロジェクトは、子育て支援としての側面だけでなく、ごみ削減やリユース促進といった環境面でも社会に貢献できる活動だと考えています。企業のCSRや学生のフィールドワークの場としても活用してもらえそうです。

モノモノコウカンプロジェクトを通して、一緒にワクワクできる地域を作りませんか?

## モノモノコウプロジェクト

設立：2016年2月

所属人数：3名

## 強み



- ・「子育て世帯」に特化した集客力・ネットワーク  
→場所さえあれば多くの子育て世帯を集客できます！
- ・足を運ぶハードルが低い「物々交換の場」というスタンス  
→交流や相談の場は行きづらい人も目的があるので足を運びやすい  
必要な人に届きやすいシステム。関係性が作りやすい。
- ・前代表から9年間積み上げてきた活動実績・ノウハウ  
→運営方法やシステムを含めたノウハウを共有可能。

## 課題

## 新しい視点&amp;アイデアが欲しい！

メンバー自身子育てと仕事をしながらの活動なので、アイデアを磨く時間が十分にとれていない現状もあります。利用者から収益をいただく形にせず、無理なく長く楽しく活動を続けていきたいので、さまざまな角度から活動を後押ししてくれる・面白がってくれる人とつながりたいです。



## 一言



私たちは一般的なお店とは違い、利用者がモノを持ってきてそれが並んでいます。こちらは場の提供だけで、実際には来てくれた人たちがこの場所を作ってくれているんです。せっかくならみんなで作っているこの場所・この取り組みをもっと面白いものにしたい。それが巡って誰かの役に立つならもっと良い。このイベントで出会ったみなさんと何か面白いことができると嬉しいです！

モノモノコウプロジェクト 原田桃子



プロジェクト  
タイトル

# 『有機米を育てて、秋におにぎりを作ろう』プロジェクト

## 特定非営利活動法人 岳の子

#児童農業体験 #障害者就労体験  
#独居高齢者との交流



春 田植えの準備として、畔塗り、代掻きをする  
 夏 田植え、水を川から引く  
 秋 稲刈り  
 飯盒で炊いた有機米でおにぎり作って食べる

### 背景

法人設立間もないため、運営資金を得ること人材を確保することが困難です。共生・協働センター様にこのマッチング事業を紹介して頂けたのでチャレンジしてみることに致しました。鹿児島市郊外郡山岳町の休耕地を再生しています。現在、農業の現場は就業者が高齢化して後継者が不足しています。有機農業的な試みを通じて、子供たちや障害のある方々との共生社会を作っていたらと願っています。私たちの活動は直接農業経営にあてはめられるものではありません。けれど持続可能な社会に貢献する私たちの生産品を陳列、販売して下さることで企業様の環境保護への愛情を示せる一助となると考えます。



# 特定非営利活動法人岳の子

設立：R7年6月26日  
所属人数：10名



- ・農薬、除草剤、化学肥料を使わないでお米の栽培ができることを体験してもらえること。
- ・農薬、除草剤等に弱い日本固有の日本みつばちの養蜂を行っていること。

### 課題

### 経済的柱と若い力に欠けている

農業機材を活用して、高齢期に入ったNPO法人役員で草刈りなどの仕事を受注して運営資金を得たりしてますが、なかなか活動が難しいとことがあります。



### 一言



私自身が長く双極性障害に苦しんでおり、当事者として株式会社の起業やNPO法人の運営などに多くの困難さを抱えています。庇護されたり、支援されたりするだけでない当事者の姿は色々な立場の人たちを励ませると信じています。



## 任意団体 風と土

#子ども第三の居場所  
#地域交流拠点 #多様性  
#共感コミュニティ



## 背景

全国の小中学生の不登校は35万人に上り、家庭や学校でも居場所を失い生きづらさを抱える子どもたちが増え続けています（精神的幸福度38カ国中ワースト2位）。また、コロナ禍が地域コミュニティに大きなダメージを与え、“人類史上かつてない孤独な子育て”と言われるほど、人と人、人と地域の関係性が弱まっています。「一人の子どもを育てるには一つの村が必要」このアフリカの諺が示唆するように、健康で幸福な人生を送る鍵は社会関係資本（つながり）の豊かさにあると考え、子どもたちを主役に、年齢や性別、障がいや国籍などあらゆる垣根を越えた多様なつながりを育み、関係性を耕し合う、地域の第三の居場所となることを願い活動をしています。

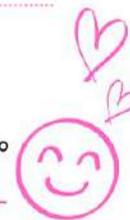
プロジェクト  
タイトル

## 世代を越えて誰もがつながり合える共生の場 地域に開かれたポケットパークを作りたい！

地域の誰もが憩い、つながり合える、あたたかな縁側のような広場に。  
「ありのまま」で「楽しい」を起点に多世代、多文化、  
あらゆる垣根を越えた出会いとつながりを育む地域の共生の場を創出したい。



空き家を活用して地域の第三の居場所づくりを行う風と土。拠点の庭を、誰もが憩い集えるポケットパークへと整備を進めていきます。東屋やピザ窯に遊具にコミュニティガーデン。みんなの夢とワクワクを詰め込んだ地域の交流拠点、共生の場づくりを、一緒に楽しみながら共創いただける仲間を探しています。



## 任意団体 風と土

設立：2024年2月4日

所属人数：10名

## 強み



- ・幅広い分野で高い専門性を持ち活躍する仲間と運営（医療福祉、教育、食、建築、芸術）
- ・世代を越えて楽しめる多種多様な体験活動や学び合いを創出する企画力と実行力
- ・地域や業種や立場を越えて協力関係を築く巻き込み力
- ・重要文化財「鹿児島神宮」参道入り口に多様な用途に使用できる拠点を持つ立地性
- ・地域のまちづくり委員会や教育機関、民生委員等の地域のネットワーク力

## 課題

## 多様な視点と共創を通じた持続可能性のある取り組みに

多彩な本業を持つ仲間と、限られた時間・資金の中でも情熱を注ぎ、地域の第三の居場所づくりを実践中。企業や教育機関の皆さまと連携し、子どもたちを主役にした、持続可能な新しい共生・協働の地域モデルの未来を共に築いていきたいです。



## 一言



長女の不登校、そして、ひとりの医療従事者として経験したコロナ禍の医療現場での体験が活動のきっかけでした。人や社会とのつながりが絶たれ、生きづらさを抱える様々な方と向き合うことで、幸せで健やかな人生を送る鍵は「つながり」の中にあると確信しました。誰かと出会い、つながり、関わりあう。そんなきっかけを駆動させる地域のプラットフォームを、一緒に愉しみながら創っていただけたら嬉しいです！

任意団体 風と土 瀬口 康平さん

## 小規模住居型児童養育事業 ファミリーホーム「米重さん家」

#社会的養護 #児童福祉  
#ファミリーホーム  
#農副連携 #菌ちゃん農法



### 背景

小規模住居型児童養育事業/ファミリーホームは、社会的養護が必要なお子さんを養育者の自宅に招き入れて養育する「里親」の拡大版となる第二種社会福祉事業です。こども達が抱えている背景から「守る」意味合いで、何もかもをオープンにすることは許されません。それでも、広く社会に開かれたホーム運営を目指しています。人々が協力し合って成し遂げる「共同作業の農生活」を通じて、様々な人がいて、協力し合うことの大切さを体験し、土に宿る微生物や菌にも役割があるように、自らも社会に役立つ何者かになれるような「生きる力」を育む場になりたいです。

### プロジェクト タイトル

## 当たり前の暮らしが誰かの「憧れ」になる。 農業と福祉がコラボしまくる日常の発信を

「農」＝農業、漁業、林業などの第一次産業が身近にある生活環境が、こども達の成長や人格形成に好循環を生み出していく...第一次産業王国「鹿児島県」から農業と福祉のハイブリット型のWinWinの発信を行いたいです。



「農家」と「ファミリーホーム」の二刀流で、こども達に自然環境と共に生き、自らが「生きる力」を育てたい...と願っています。当ホームの目の前にある休耕地で、菌ちゃん農法を活用した野菜づくりを行い、地域交流や親子交流、将来的には、できた野菜を子ども食堂に配送できるようにしたい...と夢見ています。

## 小規模住居型児童養育事業 ファミリーホーム「米重さん家」

設立：2025年 1月 15日  
所属人数： 3名（内補助者2名）

### 強み



- ・「農家」と「ファミリーホーム」の二刀流（全国的にも激レア）
- ・当ホームのコンセプトは「この子ら『に』世の光をではなく、この子ら『を』世の光に」不遇な環境に置かれている社会的養護が必要な子どもであっても、彼らが夢を持って羽ばたける社会を創っていきたくと願い、活動しています。

### 課題

地域に開かれたホーム運営の柱に、農業とインスタグラム（SNS発信）を据えたいと思っています。社会的養護に理解があり、農業を手伝ってくれるマンパワーと、野菜の成長や農業のある生活を上手にSNS発信できるノウハウを持つ人に助けて欲しいです。

菌ちゃん農法で人と人を繋ぎ、将来的には、農作物で「こども食堂」など頑張っている人を応援したい...です。



### 一言



2025年1月15日に開設しましたが、未委託が続き、9月1日からファミリーホームとしての活動を「休止」しています。養育里親として、里子が委託されるのを待機している現状です。このプロジェクトに応募して、菌ちゃん農法での畝づくりを行い、人と人が繋がり、交流が生まれ、農作物を通じて、将来はファミリーホームとしての繋がりだけでなく、1ターン/田舎での暮らし、特に子育てに興味関心がある人達の拠り所になれる存在になりたいと夢見ています。ご協力して下さる方を求めています。

小規模住居型児童養育事業/ファミリーホーム「米重さん家」代表 米重 花子

プロジェクト  
タイトル

## 地域拠点をつなぐ・つながる 地域交流情報誌の作成

一般社団法人  
かなえるHOUSE

#地域交流誌 #各種団体活動支援  
#居場所づくり #空き家再生事業

みんなの素材(夢)を活かす家



背景

地域の要望を受けて空き家再生事業として、人々の夢をかなえる居場所づくりとしての法人を立ち上げました。活動する中で鹿児島市の団地ソムリエの集まりがあった時に「もっと横の繋がりをもちたい」という思いの強さを実感しました。もっと地域の交流を図ることが必要と感じたところから今回の発想が生まれました。『地域拠点をつなぐ・つながる地域交流情報誌』作成で地域拠点をつなぐ中間支援活動を行うと同時に、空き家再生事業のための資金調達も目的としています。

地域で活動する皆さんのための情報共有プラットフォームとしての情報誌を創刊。情報誌を通じて地域の拠点をつなぎ、各団体が抱える問題解決や活動の活性化を目指します。企業広報にも役立ちます。



「読んで応援！」情報誌の売上は、草の根で活動する団体が抱える運営費や広報の支援となり、地域活性化のための活動資金となる。情報誌の購入者にもお得なクーポンを入れ、地域支援をより人々の身近なものになるよう工夫する。こうした仕組みづくりで、地域にある団体や拠点同士をつなぐ役割を担い、情報誌を通して互いの活動を支え合う中間支援活動を行うものである。



## 強み



- ・強み  
→各種団体や地域拠点との横の繋がりがある。
- ・強み  
→雑誌作成における経験が豊富である。



## 課題

## 大きな課題

地域の要望を受けて空き家再生事業として、人々の夢をかなえる居場所づくりとしての法人を立ち上げたが、物価高騰のあおりを受けて、現在中断している。活動体制の見直しを考え、様々な方面で協力が欲しい。



## 一言



情報誌作成を通じて地域活動の成果や価値を再認識する場づくりになり、地域拠点や企業や住民との関係性構築に役立ち、社会貢献活動への参加意欲を高めることができる。これにより新たな横の繋がりが資金が地域活動に流入する好循環を生み出すことを期待します。これは始まりにすぎません。将来性を見据えてのご協力がいただけたら幸いです。

一般社団法人かなえるHOUSE 代表 川上かなえ



## 子育てサポーター団体 かごんママズ

#子育て #鹿児島ママ  
#親子向けイベント



### 背景

鹿児島においても「孤育て」と呼ばれる、親がひとりで子育てを抱え込む状況が深刻化しています。親子が安心してつながれる場が不足している一方で、地域や企業の子育て支援の力は十分に活かされていないのではないだろうか、私自身3児の母として感じる瞬間も多くあります。そこで、親子と地域・企業・教育機関をつなぐ交流の場があれば、、、

### プロジェクト タイトル

## “孤育て”をなくす！ 地域みんなで支える親子交流プロジェクト

「子育てはひとりじゃない」を合言葉に活動する子育て支援団体です。イベントや交流活動を通して、親子の孤立を防ぎ、地域全体で子育てを支える仕組みを展開していきたいと考えています。



これまで300～500名規模のイベントを開催し、多くの親子に楽しんでいただきました。しかしながらまだまだ認知不足・財源不足のため、課題が多い現状です。「子育てはひとりじゃない」に共感・応援し、支えてくださる企業や教育機関を探しています。

# 子育てサポーター団体【かごんまます】

設立： 2023年 9月 1日  
所属人数： 10名

## 強み



- ・大規模イベントを実現できる実行力（300～500名規模）  
→ 企画～運営まで担えるため、地域資源や協賛を活かした展開が可能。
- ・地元ママが運営し、当事者目線の企画力と共感力  
→ 参加者のニーズに寄り添ったプログラム設計ができ、協働する企業や大学のサービスを自然に親子に届けられます。



## 課題 大きな課題

- ・財源が乏しく、協賛や助成金に依存している
- ・運営メンバーが限られ、準備・当日の負担が大きい
- ・イベント終了後の継続的な親子支援にまでリソースを割きにくい
- ・専門機関や企業とのネットワークが不十分である



## 一言



子育ては社会全体で支えるもの。  
かごんまますは、孤育てをなくし、親子が安心して暮らせる鹿児島をつくるため、地域・企業・教育機関と共に歩んでいきたいと考えています。  
このプロジェクトを通して、親子の笑顔がもっと広がる未来を実現したいです。

